

「戦争マラリアの悲劇 ～波照間島・島民は語る～」

あらすじ

1953年、沖縄・西表島（いりおもてじま）。開拓農民の保久盛長正（ほくもり・ちょうせい）は、南風見（はえみ）の海岸で「忘勿石 ハテルマシキナ」と文字が彫られた岩を見つけました。妻のヤスにそのことを伝え、ヤスは8年前の悲劇を語り始めました…。

…1945年1月、沖縄・波照間島に米軍機の爆弾が落とされました。一生懸命育てた作物も、家も焼かれた島民たち。今度はいよいよ米軍が上陸するのではないかと噂していました。そして3月になると、マラリアの有病地であった西表島への強制疎開命令が出されます。波照間島民に“戦争マラリア”の悲劇が近づいていたのです…。



劇団 BIGMOUSE

1996年宝塚市内の中学生18名で結成。2009年より社会人がメンバーに加わり、自己表現、人づくり、世代間交流を目指す市民劇団として活動している。現在、10代から80代まで14名の劇団員が所属。運営は宝塚市文化財団、指導は宝塚市在住演出家・高波匠志。年1回の宝塚ソリオホールでの定期公演のほか、市内福祉施設への訪問活動なども行っており、2024年には「宝塚市制70周年まちづくり功労賞」を受賞した。今年で創立30周年を迎える。

ゲスト



盛光 秀信（ゲスト出演）

1972年生まれ。特技は水泳、空手（剛柔流初段）、殺陣。趣味は映画鑑賞、体操。主な出演作品「聖徳太子」「武蔵」「いだてん」「わろてんか」「まんぷく」等。その他、舞台作品として、ミュージカル「アンネ・フランク」、劇団てんこもり、劇団せすん、大衆演劇等、多数出演。劇団BIGMOUSE公演にも多数出演している。



ひねや 憲ノ介（友情出演）

劇団BIGMOUSE元劇団員。退団後もBIGMOUSE公演の舞台美術やロビーアートを務め劇団をサポート。ソリオ宝塚にて「たこやき ひね屋」元気に営業中。



ナオ塩崎（三線演奏）

沖縄旅行中の居酒屋にて三線の音色に触れて興味を持ち、宝塚市高松町の三線同好会に参加して沖縄民謡の基礎を習得。のちに、西表島出身の三線アーティスト「南ぬ風人まーちゃん」の下で八重山民謡を学び現在に至る。

寄付者の
ご紹介

地域文化の質向上を願い
宝塚市文化財団の行う
文化事業の支援を目的として
ご寄付をいただきました。

& 三井不動産リアルティ
MITSUI FUDOSAN REALTY

KANAI
金井重要工業株式会社